

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	8	学校名	仙台市立上杉山通小学校	校長名	高橋 研
------	---	-----	-------------	-----	------

1 取組のテーマ「わたしたちができる身近なエコ活動」



2 取組の紹介

(1) 朝の落ち葉掃き（緑化委員が始業前の時間に活動）

校門の内側のコナラの木がたくさん葉を落とします。そこで、緑化委員が教職員と一緒に朝8時10分から通路の落ち葉掃きをしています。今年も学校で育てていたコキアの枝をハウキとして使い、子供たちに大変好評でした。

(2) 緑化活動

愛宕上杉山通に面する一面に「上杉フラワーあいさつロード」があります。この花壇には、毎年緑化委員会の子供たちが季節の花を植え、水やりや雑草取りの世話をしています。

また、今年もアートプランターを昨年に引き続き通路に、設置し、車侵入の防止に役立っています。

(3) ごみの分別・リサイクル推進

各教室に三つのごみ箱を用意し、普通のごみ・プラスチック以外にも感染症対策用のゴミ箱を用意し使用しています。

また、リサイクル活動の一環として、奉仕委員会が中心となって、ペットボトルキャップを集めて、リサイクル会社に届けています。

(4) わかばクリーン作戦

地域清掃の一環として年に一回、落ち葉清掃を地域の人と全校児童で行っています。異学年どうしで取り組むなど、学年間の交流にも役立っています。

3 取組の成果（児童の変容）

緑化委員会による落ち葉清掃は、今年度から、児童の安全確保の観点から校地内を清掃することになりました。児童は残念がっていましたが、頭を切り替えて、率先して行う意識が育ってきています。ごみの分別は昨年度より引き続き行われており、児童にも根付いています。わかばクリーン作戦は、上杉地区をきれいにすることを目的に5年ぶりに行い、地域がきれいになり、学年間や地域の人との交流が深まりました。アートプランターは、はじめは、色合いもよくきれいでしたが、劣化しはじめたので、緑化委員会がニス塗り直し、長持ちさせようとしています。

